

4 C	通 年	コンピュータシステム技術	履修形態	全員選択
			履修単位	2
科目目標			教科書	7 実教工業375： コンピュータシステム技術
コンピュータシステム技術に関する基本的な知識・技術を習得する。			副教材等	なし
			履修条件	特になし
学習内容				
コンピュータシステムの定義やマルチメディア情報の種類と特徴、および各種コンピュータシステム技術を利用したシステムの概要について学習する。				
評価方法		出席状況、ノート提出、課題提出および定期考査を総合的に評価します。		
学習上の留意点		欠席は大きな減点になります。課題未提出の場合も大きな減点になります。		

授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）				
期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標	
前 期	4	コンピュータシステム技術 1 コンピュータシステム 技術の概要	コンピュータシステム技術とは何か、基本的条件として、文字・音声・画像など複数の媒体をデジタル化し、双方向で伝達することなどを理解する。 またメディアの種類と特徴、マルチメディア文書、マルチデータベースについて理解する。	
	5			
	6			
後 期	7	ネットワーク技術 1 情報処理システム	データ通信の方法と機器、ネットワーク階層とプロトコル、ネットワークシステムの運用や保守について理解する。	
	9			
	10			
後 期	11	マルチメディア技術 1 マルチメディアの デジタル化技術	標準化・量子化・符号化、およびA-D変換器・D-A変換器について理解する。 文字・音声・静止画像・動画などのマルチメディア情報の表現とデータ圧縮との関係、マルチメディアの標準化について理解する。	
	12			
	1			
	2			
	3			

学習評価の観点別規準と評価方法			
評価の観点	知識及び態度	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	・コンピュータシステムを理解するうえで必要な、基本的なハードウェアとソフトウェアの知識を身につけている。 ・マルチメディアで扱う文字・音声・静止画像・動画などの表現メディアの特性を理解しており、適切なメディアを選択・利用してマルチメディア文書やWebページを作成し情報を発信する技術・技能を有する。	・コンピュータシステムを構築するために必要なソフトウェアとハードウェアについて、どのようなソフトウェアとハードウェアを選択すればよいかを判断することができる。 ・マルチメディアで扱う文字・音声・静止画像・動画などの表現メディアの特性を理解しており、適切なメディアを選択して利用し、情報を発信することができる。	・情報システムの分析、設計、構築、運用などにおいてコンピュータシステムに関する知識と技術に興味をもち、マルチメディアシステム、ネットワークシステム、データベースシステムについて学習しようとする意欲をもち、実際にそれらを活用しようとする能力と態度を身につけている。 ・マルチメディアに興味があり、実際にどのように利用されているかを探求する意欲がある。
評価方法	学習状況の観察 ノートの記述 授業プリントの提出 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 授業プリントの提出 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 授業プリントの提出

学習サポート	
指導に従い、期限内に課題・ノートなどの提出が必要になります。 出席状況、提出物、および定期考査等を総合的に判断し、評価をします。	